

ふる里日記

古河で育った
ノラネコさんの
ふる里の思い出

私は生まれも育ちも古河市で、祖父母の代から古河に住む「生粋の古河っ子」。

古河第六小学校・古河第一中学校・古河第三高等学校に通い、その後は多摩美術大学に進学しました。広告代理店を経て、2012(平成24)年に「ノラネコデザイン」という屋号で独立し、デザイナーとして頑張っています。



▲「よいこがいっぱい」ワークショップに参加してくれた市内の小学生たちと

小さい頃から好奇心旺盛な性格なので、グラフィックデザイン(広告、ロゴ、パッケージイラストなど)を中心に、映像美術(撮影セットの制作)、工作ワークショップの開催、イベントでの司会進行など幅広く行うほか、趣味ではウクレレの練習中、常に新しいことに挑戦しています。

現在は、東京のシェアハウスで3人暮らしをしていますが、なんと全員、中学時代の同級生。

古河の実家にはよく帰りますし、花火大会や提灯竿もみまつりにも参加するなど、相変わらず「古河っ子」な生活を送っています。

私は、学生時代から「古河市をデザインで盛り上げること」が夢でした。デザイン賞を受賞した「古河のご当地婚姻届」がきっかけで念願が叶い、古河市のシティプロモーション「こが暮らし こが育ち。」に参加。インターネットで公開中の古河市PR動画「よいこがいっぱい」のアニメーション部分を、市内の小学生33人と一緒にワークショップ形式で制作しました。古河の暮らしを絵本のような世界観で表現すべく、みんなで大きな紙に自由に抽象画を描いたあと、それらを切り貼りする手法でモチーフを作ってもらいました。最後に私がみんなの作品を1枚の絵にまとめ、一つ一つ動きを付けて、アニメーションに仕上げています。子どもたちの個性豊かな作品のおかげで素敵な映像となりました。ぜひご覧ください。

これからも「大好きな古河のためにできること」をたくさん見つけて貢献していきたいです。

小学生と一緒に作った「よいこがいっぱい」展を市役所古河庁舎1階市民待合ロビーで開催します。
期間 7月18日(火)～8月9日(水)

古河市PR動画
はこちらから



ノラネコデザイン デザイナー
猪瀬まな美さん